



# みんなで支える森林づくりニュース(第30号)

平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用して、市町では地域の実情に応じて創意工夫した取り組みを進めています。その中のいくつかをご紹介します。



鳥羽市では、10月にオープンした農水産物直売所&地産ビュッフェレストラン「鳥羽マルシェ」に、薪ストーブと県産材で作られたテーブル、ベンチを設置しました。多くの方々に、木の温かみ（木製品として、木質エネルギーとして）に触れていただくことで、木の良さを感じ、木材の利用を推進していくとするものです。薪ストーブに使う薪も、鳥羽市内で間伐された木材を利用しています。



伊賀市では、「伊賀市ウッドスタート事業」として、1歳半の子どもたちに伊賀産材のヒノキを使ったスプーンを、3歳の子供たちには県産材の箸を配布しています。親子で始める木育として、乳幼児期からの木との触れ合いを通して地域の木で作られた製品や地域の森へ興味・関心を育てていこうとするものです。



川越町では、子ども達の緑の自然環境を大切に思う気持ちを育てるため、保育園の園庭の一部を芝生化しました。園児たちは柔らかな芝の上で気持ちよさそうに遊びまわっています。

ここで紹介させていただいた他にも、三重県内各29市町が、みえ森と緑の県民税を活用し、地域の実情に応じた取り組みを進めています。



「みんなで支えるみえの森林づくり」ロゴマークが出来ました！！



県土の3分の2を占める森林は、木材を供給するほか、土砂の流出や崩壊を防ぎ、水を貯えて洪水や濁水を和らげるなど私たちの暮らしに欠かすことのできない大切な働きをもっています。このような森林を「県民みんなで支えていこう！」という機運を高めていくため、ロゴマークを制定しました。

森林づくり活動（木を使う活動、森林の勉強をする活動、森林を整備する活動等）をするときには、是非このマークを使ってください！使用申請については、ホームページ「三重の森林づくり」内、「みんなで支える森林づくり」をご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/05/index.htm>